

2027年度 入試日程

学内進学者入試		
	出願受付	試験日
	2026年3月13日(金)～3月19日(木)	2026年4月7日(火)
一般入試		
入試種別	出願受付	試験日
第1回一般入試	2026年6月15日(月)～6月19日(金)	2026年7月4日(土)
第2回一般入試	2027年1月18日(月)～1月22日(金)	2027年2月13日(土)
外国人留学生入試		
	出願受付	試験日
	2026年9月25日(金)～10月2日(金)	2026年10月24日(土)
社会人入試		
入試種別	出願受付	試験日
第1回社会人入試	2026年6月15日(月)～6月19日(金)	2026年7月4日(土)
第2回社会人入試	2027年1月18日(月)～1月22日(金)	2027年2月13日(土)

大学院入試
サイトはこちら



ロボティクス&デザイン工学部事務室

ロボティクス&デザイン
工学研究科
Webサイトはこちら



2027 OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY GRADUATE SCHOOL OF ROBOTICS AND DESIGN

ACCESS

アクセス：
JR大阪駅から徒歩約5分。
阪急大阪梅田駅から徒歩約3分。
地下街との接続で、
スムーズなアクセス。



※詳しくは公式Webサイトをご覧ください。

限界を超える成長がある

OVER
THE
LIMIT

大阪工業大学 大学院
ロボティクス&デザイン工学研究科

ロボティクス&デザイン工学研究科

多様で深い専門性を身に付ける

本研究科には「ロボティクス」「システムデザイン」「空間デザイン」の3コースがあります。それぞれの専門性を生かしつつ、コースの垣根を超えたコラボレーション型教育で、分野横断型の研究をめざしています。多様な視点と専門知識を持ち、社会の課題を自ら発見・解決できる人材を育てます。

新規事業にチャレンジする 人材育成をめざす

多くの企業は、成熟した既存事業だけでなく、新規事業に携わるチャレンジ精神あふれる人材を求めています。製品・サービスに付加価値を与え、ユーザーエクスペリエンス(UX)デザインなどの視点を持つ人材の育成をめざします。

企業・地域・ 地方自治体と連携

連携先から提示される実社会の課題解決に取り組みます。社会人と協働し、切磋琢磨することで、価値観や文化が異なる多様な人と課題を共有し、知識や技術を補完しながら、共に目標を達成する人材を育てます。

世界トップレベルの イノベーション教育を展開

欧米の名門大学や研究機関、国内の企業でも実践されているデザイン思考をはじめとしたイノベーション教育を取り入れます。手法を身に付けるだけでなく、ユーザー視点で新しい価値を創造する力を養います。

学びの拠点は大阪都心の高層キャンパス

JR大阪駅や私鉄・地下鉄の梅田各駅から徒歩数分に位置する梅田キャンパス。

関西で最大の街「大阪梅田」に位置する地上21階・地下2階・高さ125mの都市型タワーキャンパスで学びます。梅田ならではの地域・企業との連携や、最先端の環境下で本格的なものづくり教育を実践しています。



大学院進学のポイント

大学院入学から修了までの2年間だけでなく、一生にわたって強みを発揮する大学院進学のポイントについて解説します。

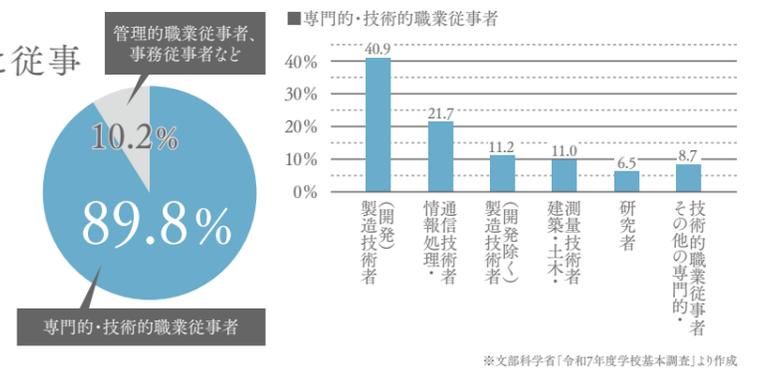
01. 理工系の約4割が 大学院に進学

文系に比べて、理工系学部の学生は大学院へ進学する傾向が高いです。学部で身に付けた知識と経験をより深めるために、学部生の約4割が大学院へ進学しています。



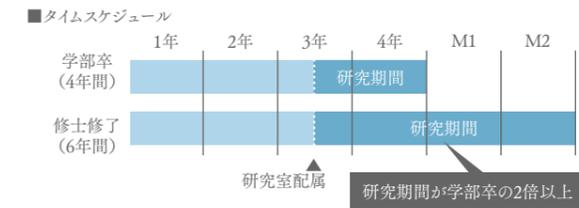
02. 約9割が 専門的・技術的職業に従事

統計によると工学系大学院の修士課程を卒業したうちの89.8%が専門的・技術的職業に従事しています。なかでも、開発に携わる製造技術者が40.9%と最も多く、次いで情報処理・通信技術者が21.7%と続きます。大手企業の工学系採用では大学院を修了した人材を積極的に採用しており、グローバル企業では修士卒以上を採用条件にしているところも少なくありません。



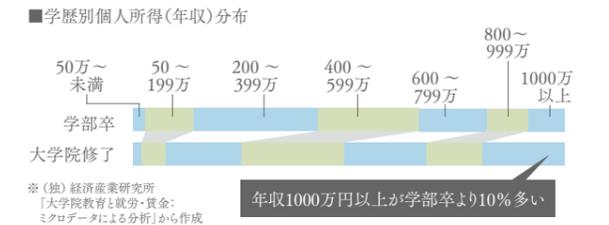
03. 研究期間が長い ため専門性を深められる

学部4年間で基盤として、大学院で研究に集中することにより、専門分野への理解をさらに高めることができます。本学では学部4年間と大学院2年間を通して、体系的な学びを展開しています。



04. 大学院修了者には 高額所得者が多い

大学院生は修了後、研究や開発職につく傾向が高く、年収1000万円以上の人口が学部卒に比べて多いという調査データが出ています。



就職実績 博士前期課程 ▼過去3ヵ年の主な就職先

ロボティクスコース	トヨタ自動車(株)、本田技研工業(株)、マツダ(株)、三菱自動車工業(株)、ダイハツ工業(株)、(株)日立製作所、三菱電機(株)、三菱重工業(株)、京セラ(株)、(株)村田製作所、ミネベアミツミ(株)、ローム(株)、(株)SCREENセミコンダクターソリューションズ、シャープ(株)、(株)デンソー、Astemo(株)、ニデックモビリティ(株)、(株)クボタ、ヤンマーホールディングス(株)、(株)ダイフク、(株)ダイヘン、富士通(株)、富士通Japan(株)、(株)日立システムズ、NECソリューションイノベータ(株)、沖電気工業(株)、TOPPANホールディングス(株)、富士フイルムビジネスイノベーション(株)、グローリー(株)、(株)パイロットコーポレーション
システムデザインコース	トヨタ自動車(株)、三菱電機(株)、富士通(株)、ダイキン工業(株)、NTT東日本(株)、SCSK(株)、LINEヤフー(株)、ナブテスコ(株)、国立研究開発法人情報通信研究機構、パーソルAVCテクノロジー(株)、(株)ARISE analytics、三菱電機ソフトウェア(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、(株)日立産業制御ソリューションズ、コベルコシステム(株)、住友電工情報システム(株)、(株)NTTデータSBC、島津トラステック(株)、富士ソフト(株)、TOA(株)、倉敷紡績(株)、大東精機(株)、ソフトキューブ(株)、(株)ディーアンドエムホールディングス、カコムス(株)
空間デザインコース (旧「建築デザイン/プロダクトデザインコース」)	鹿島建設(株)、(株)日本設計、(株)竹中工務店、(株)大林組、清水建設(株)、大成建設(株)、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、(株)大建設計、五洋建設(株)、(株)浅沼組、高松建設(株)、セイコーエプソン(株)、レック(株)、フェニル(株)、関西エアポート(株)、(株)ドラフト、(株)オリバー、

コース紹介

ロボティクスコース ROBOTICS

【学びの特長】

01.

ロボットシステムの研究・開発による社会貢献

少子高齢化と働き方の改革が求められる日本。その新たな担い手として国は医療福祉ロボットや生活支援ロボットの普及をめざしています。本コースでは、このような社会的課題に対して人間中心設計の視点で研究・開発に取り組みます。

02.

ロボットシステムの要素技術の研究・開発による幅広い将来の選択肢

基本となるメカトロニクス技術に加えて環境やロボット自身のセンシング技術、人工知能、制御技術など、幅広い技術を学びます。加えて人と共存するロボットシステムの開発に必要な人のセンシングにも取り組みます。

03.

ロボットシステムの社会実装をめざした実践型教育

研究・開発したロボットシステムは、社会実装し、人々の生活や暮らしの向上に役立てる必要があります。企業との共同研究や大学間連携、さらには地域への協力などを通してこれを実現します。

【大学院進学希望者へのメッセージ】

学部で得た機械、電気電子、計測制御、情報といった知識を総合し、ロボティクス分野において一つのシステムとして形にする経験は、皆さんの専門性を確立するうえで極めて重要です。大学院においてこそ自分の思いが形にできるのです。是非ロボティクスコースへ進学してチャレンジしてください。



システムデザインコース SYSTEM DESIGN

【学びの特長】

01.

システムデザインの視点で研究・開発を推進

システムデザインとは、さまざまな技術を組み合わせ社会の課題を解決することです。本コースでは、数理・IT・ロボティクスを中核とした学びと高い専門性を持つ教員の指導の下、多様な視点と高度な技術力に基づく研究・開発を推進します。

02.

IoT時代をけん引する技術者を育成

IoTの普及によって、これからどのような製品やサービスが必要になるのか。その答えを自ら考え、具現化できる。各種の実社会連携の実践から、IoT時代をけん引する技術者育成をめざします。

03.

ユーザ理解で課題設定力を育成

ユーザ視点から課題を抽出し、技術要件へ落とし込む能力を養います。製品やサービス開発に必要な分析力と設計力を培い、社会の多様なニーズに応えられる技術者を育成します。

【大学院進学希望者へのメッセージ】

社会にはまだまだ実現されていない新しいサービスや製品が埋もれています。例えば、ほんの数年前までUber Eatsなどのサービスは世の中には生まれていませんでした。次のイノベーションを起こすのは皆さん自身です。システムデザインコースでの学びと経験を通じてより高度な知識を身に付けてください。



空間デザインコース DESIGN AND ARCHITECTURE

【学びの特長】

01.

さまざまなデザイン分野のデザイナーを育成

建築デザイン・インテリアデザイン・プロダクトデザインなどのさまざまなデザインを横断して学びます。

02.

人を中心に考えたデザイン研究

社会ニーズを捉え、それに応える実践的なデザインスキルを身に付け、人を中心に考えたデザインを研究します。

03.

社会連携をめざしたデザイン教育

企業や外部の大学・研究機関、地域と連携し社会的なデザイン活動を通じてデザインの専門性を獲得します。

【大学院進学希望者へのメッセージ】

建築・インテリア・プロダクトのデザイン分野では、AIやIoTといった新しいテクノロジーが急速に広がっています。これからのデザイナーには、広い視点から、よりイノベティブな思考が求められます。このような未来を見据えた先進的なデザイン研究に共に取り組みましょう。



FACULTY MEMBERS
担当教員一覧
(2026年4月現在)

■ロボティクスコース

井上 雄紀 教授	専門分野: ロボット工学、ロボットマニピュレータ、モバイルマニピュレータ、移動ロボット
大須賀 公一 教授	専門分野: ロボット工学、レスキュー工学、制御工学
河合 俊和 教授	専門分野: メカトロニクス、人間機械システム、医療ロボティクス
倉前 宏行 教授	専門分野: 計算力学、材料力学、並列計算、連成解析
谷口 浩成 教授	専門分野: ソフトロボティクス、アクチュエータ工学、メカトロニクス
野田 哲男 教授	専門分野: 機械システムの知能化
廣井 富 教授	専門分野: 生活支援ロボット
吉川 雅博 教授	専門分野: 福祉工学、ロボット工学、デジタルファブリケーション、ラビッドプロトタイピング、ヒューマンインタフェース
姜 長安 准教授	専門分野: 制御工学、ロボット工学、メカトロニクス
東 善之 准教授	専門分野: 飛行ロボット、点検ロボット、メカトロニクス、ロボットナビゲーション

■システムデザインコース

井上 明 教授	専門分野: 教育工学、情報システム学、アクティブ・ラーニング
井上 剛 教授	専門分野: ヒューマンインタフェース、生体信号処理
小林 裕之 教授	専門分野: IoT応用、移動ロボット、AI応用、群ロボット
中山 学之 教授	専門分野: パートナーロボット、デジタルツイン、サイバーフィジカルシステム
小野山 博之 准教授	専門分野: 農業ロボット、ドローン、リモートセンシング、制御、AI応用
瀬尾 昌孝 准教授	専門分野: 人工知能、最適化、画像処理
中泉 文孝 准教授	専門分野: 人工現実感、ヒューマンインタフェース
横山 広充 准教授	専門分野: 環境デザイン学

■空間デザインコース

今井 美樹 教授	専門分野: グラフィックデザイン/ビジュアルデザイン/エディトリアルデザイン、デザイン史、キュレーション
白髪 誠一 教授	専門分野: 建築鋼構造、建築構造設計
西應 浩司 教授	専門分野: インテリアデザイン、建築計画、都市計画
福原 和則 教授	専門分野: 建築設計、近代建築(日本)、設計方法・設計プロセス
益岡 了 教授	専門分野: UXデザイン、インタフェースデザイン、プロダクトデザイン、環境デザイン
妻木 宣嗣 准教授	専門分野: 建築歴史・意匠
中村 卓 准教授	専門分野: インテリアデザイン、家具デザイン、建築・リノベーション設計、デザイン理論、デザイン史(近代)
増岡 亮 准教授	専門分野: 建築史・意匠、建築設計、都市計画
山本 麻子 准教授	専門分野: 住宅設計、展示デザイン、リノベーションデザイン、住空間計画

ADVICE FROM SENIORS
先輩からの言葉



01. 氏名: 平井 由香 さん
【修了生】
プロダクトデザインコース
(現: 空間デザインコース)
2022年3月修了

勤務企業: 三菱電機株式会社
統合デザイン研究所
産業システムデザイン部

学部での課題に取り組む中で、人が無意識に取る行動や、製品に対して抱く印象に関心を持ち、体系的に追及するため大学院へ進学。視覚に障害を持つ方の「服薬」をテーマに、服薬補助製品や仕組みづくりのための課題抽出や要件整理に取り組みました。学部ではデザインの考案や制作が中心で、検証が十分ではありませんでしたが、大学院では当事者実際にプロトタイプを使用してもらい、日常の服薬行動を聞き取るなど観察と検証に注力しました。従来の検討では捉えきれなかったニーズや行動の特徴を知り、デザインへの理解を深めることができたと感じています。卒業後も人中心の価値創造を探求し、さまざまな事業や分野に活かすため統合デザイン研究所を志望。現在、産業機器のプロダクトやUIのデザイン、将来の工場像コンセプトの創出に携わっています。大学院で関心のあるテーマにじっくり取り組み、考えを深めてきた経験を納得感のある製品づくりに活かしたいです。

02. 氏名: 北奥 一希 さん
【修了生】

氏名: 北奥 一希 さん
ロボティクスコース 2023年3月修了

勤務企業: ヤマハ発動機株式会社
ロボティクス事業部
製造統括部製造部生産技術グループ

大学院では、さまざまな食品を掴んで盛り付けるロボットハンドの研究を行っていました。研究を通して、把持理論や多様な特性をもつ食品のハンドリング、シミュレーションなどに関する知識と技術を習得しました。大学院で学んでからは、考えた理論をどう現実世界に落とし込むか、どうすれば起こっている問題を理論的に証明できるかという思考が身に付き、目標達成に必要な要素を分析し、そこから課題を把握して解決することができるようになりました。現在は、ヤマハ発動機株式会社のロボティクス事業部に所属し、ロボットを使用した製品組み立て作業の自動化に携わっています。課題に対してさまざまな面からアプローチし、課題を解決していくこと日々やりがいを感じています。大学院では、研究に没頭する時間だけでなく、さまざまな人とかわり知見を広げる環境があります。学部よりさらに深い学びや体験をすることで、研究者として大きく成長できました。



03. 氏名: 富永 理人 さん
【修了生】

氏名: 富永 理人 さん
システムデザインコース 2024年3月修了

勤務企業: 富士通株式会社

高度な知識を習得し、自らの専門性を追求したいと思い大学院に進学しました。進学後は、人工知能を利用したテキストベースの画像生成技術に関する研究に専念し、プログラミングやAIに関する知識と実践的なスキルを身に付けることができました。さらに、国内外の学会への参加や、英語で研究成果の論文を発表するなど、大学院でなければ得られない機会にも恵まれ、進学して良かったと身に染みて感じています。将来は革新的な技術を扱い、幅広い事業領域で社会に貢献する企業に従事したいと思い富士通を志望。常に新しい技術に好奇心を持ち続け、技術を活用し社会課題の解決に貢献できる技術者になることが今の目標です。大学院で得られるものは想像するよりも多く、間違いなく自身の成長を実感できる場だと思います。

CURRICULUM
カリキュラム

博士前期課程

学際分野
アカデミックリーディング
アカデミックライティング
グローバルテクノロジー特論a
グローバルテクノロジー特論b
インターンシップ
学校体験活動(アドバンス)

ロボティクス分野
メカトロニクス特論
制御工学特論
知能ロボティクス論
コンピュータビジョン論
ライフサポートロボティクス論
ソフトロボティクス論
アクチュエータ特論
計算機シミュレーション論
ロボットシステム設計特論(2024～)
ロボットシステムインテグレーション論(2024～)
先端ロボティクス論 I (2024～)
先端ロボティクス論 II (2024～)

空間デザイン分野
デザイン方法特論
インテリアデザイン史特論
デザイン表現特論
情報デザイン特論
インテリアデザイン特論
プロダクトデザイン特論
プロダクトデザイン特別演習 I
プロダクトデザイン特別演習 II
建築文化特論
都市環境デザイン特論
建築計画特論
建築環境工学特論
建築構造デザイン
造形特別演習
建築設計特別演習 I
建築設計特別演習 II
建築インターンシップ
インテリアデザイン特別演習

専門共通分野
応用数学特論
応用物理学特論
デザイン思考論
ラピッドプロトタイピング特別演習
国際標準化論
ロボティクス&デザイン工学特別研究
文献研究

システムデザイン分野
IoT論
知能化システム論
アプティクコンピュータ論
人工現実感論
ヒューマンセンシング論
ソフトコンピュータ論

博士後期課程

ロボティクス特殊研究

システムデザイン特殊研究

空間デザイン特殊研究

INTERNATIONAL EXCHANGE

国際交流

世界を舞台に活躍する技術者をめざして

本学では、国際競争力向上に貢献できるグローバル人材の育成をめざし、海外の協定大学と連携しながら独自の国際交流の取り組みを展開しています。

世界にはばたくための多彩な国際交流プログラム

語学研修・文化体験プログラム

語学研修は、英語圏にある海外協定校や語学学校で1～4週間、英語を集中特訓するプログラム。会話中心、総合力強化など希望のコースを選んで学習することで、表現力やモチベーションの向上が期待できます。また、文化体験プログラムでは、現地学生との交流、文化施設見学、アクティビティ、ホームステイ体験などを通じて、外国の文化を体験することができます。

国際PBL

学部2～3年生を主な対象として、海外の大学とPBL(Project-Based Learning)を実施するプログラム。1週間～2か月(オンライン時)程度、海外の学生と混成チームを作り、英語でコミュニケーションを取りながら、専門性に合わせた共通の課題に取り組みます。異なる価値観を持つ人々と協働することで多岐にわたるアイデアが生まれ、多様な能力が身に付きます。

海外研究支援

本学大学院に内部進学が決定している4年生と大学院生を対象とし、海外の大学や研究機関などで1か月以上の研究や実務の体験を行う場合、必要経費の一部を大学が支援する制度。派遣先の選定は指導教員が行い、各研究室の海外研究機関などとのネットワーク構築を大学が支援します。派遣先での活動は、卒業研究・大学院研究との接続などの観点から評価されます。



その他の国際交流

長期交換留学
イアエステ
トビタテ!留学JAPAN

オンライン国際交流

コロナ禍で海外派遣できなかった時期にオンライン国際交流ができる環境整備を行いました。現在でも語学研修における一部のプログラムでオンラインでの交流を行うことができます。

INTERNATIONAL CONFERENCE PRESENTATION

国際学会発表実績一覧

年度	開催期間	学会名	開催地
2024	5/13～5/17	2024 IEEE International Conference on Robotics and Automation	横浜
2024	6/13～6/14	ACTUATOR 2024 International Conference and Exhibition on New Actuator Systems and Applications (新しいアクチュエータシステムとその応用に関する国際学会と展示会)	ドイツ・ザースバーデン
2024	6/18～6/21	Computer Assisted Radiology and Surgery(コンピュータ支援放射線・外科手術)	スペイン・バルセロナ
2024	6/29～7/4	Human-Computer Interaction International 2024 (ヒューマンコンピュータインタラクション国際学会)	アメリカ・ワシントン
2024	7/15～7/19	46th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (IEEE医用生体工学国際会議)	アメリカ・オランダ
2024	8/25～8/29	IEA2024 22nd Triennial Congress of the International Ergonomics Association (国際人間工学会)	韓国・済州島
2024	10/29～11/1	2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics	北九州
2024	11/18～11/20	21st International Conference on informatics in control, automation and robotics (第21回 制御・自動化およびロボティクスの情報学に関する国際会議)	ポルトガル・ポルト
2025	6/17～6/20	Computer Assisted Radiology and Surgery (コンピュータ支援放射線と外科に関する第39回国際会議)	ドイツ・ベルリン
2025	6/22～6/27	27th International Conference on Human-Computer Interaction (HCII2025) (第27回国際ヒューマンコンピュータインタラクション会議)	スウェーデン・ヨーテボリ
2025	6/27～6/29	2025 9th International Conference on Robotics and Automation Sciences: AI-Powered Robotics Advancements (ICRAS 2025)	大阪
2025	7/14～7/17	47th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (第47回年次国際会議医学生物学工学学会)	デンマーク・コペンハーゲン
2025	9/23～9/26	2025 IEEE 14th Global Conference on Consumer Electronics	大阪
2025	2026/1/11～1/14	The 2026 IEEE/SICE International Symposium on System Integration (2026年 IEEE/SICE システムインテグレーション国際シンポジウム)	メキシコ・カンクン

【奨励金制度】

研究活動奨励金

大学院生の研究活動を奨励し、もって資質の向上をはかるため、学会などで研究活動などを行う場合に、申請によって旅費などの一部が支給される制度です。また、学会での研究発表推進のため、海外開催の国際会議で研究発表を行う大学院生に対して、審査のうえ、経費の一部を援助しています。

論文投稿奨励金制度

日本学術会議登録の学術研究団体に大学院生が筆頭者として論文を投稿し、審査のうえ掲載された場合、申請によって当該掲載料相当額の一部または全額が、大学院生に奨励金として支給されます。対象者、支給額は専攻などによって異なります。

学費・奨学金制度

2026年度 博士前期課程 対象

本学では、学内進学者を対象に「大学院入学前予約採用型給付奨学金」(2年間総額67万円以上)と「大学院グローバル人材奨励給付奨学金」(1年間20万円)を設けています。両制度は、いずれも採用資格を満たせば全員に給付する制度となっており、大学院への進学を経済面から強力にサポートします。大学独自の奨学金制度のほか、日本学生支援機構奨学金をはじめとする学外の各種奨学金制度があり、大学院生のみなさんをバックアップしています。詳細については、ロボティクス&デザイン工学部事務室へお問い合わせください。

学 費	1年次		2年次(年額)	合計(2年間)
	入学手続時納入	10月納入		
入学金	150,000円	—	—	150,000円
授業料	510,000円	510,000円	1,020,000円	2,040,000円
合 計	660,000円	510,000円	1,020,000円	2,190,000円

※2026年度時点
 ※上記以外に毎年1.4万円程度の諸会費(年額)が必要です。本学出身者は、入学金の減免(半額)を受けることができます。

奨学金制度

■学内奨学金制度(給付制) ※外国人留学生は除く

奨学金の種類	大学院入学前予約採用型給付奨学金	大学院グローバル人材奨励給付奨学金	大学院特待奨学金	大学院社会人学生給付奨学金
給付額(年額)	【学科内成績最上位者】 (1年次時)57万5千円(2年次時)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次時)37万5千円(2年次時)30万円	20万円	年間授業料の全額相当額	30万円
採用資格	本大学院の「学内進学者入学選考」により合格した学生で、学業・人物ともに優秀と認められる者	本学の学内進学者で、出願時にTOEICスコアが所定の得点以上を有する者。ただし英語を母国語としていない者(過年度実績:550点以上) (◆1、◆2)	学部3年次までの成績が極めて優秀で、経済的理由のため就学が困難と認められる者でTOEICスコアが450点以上を有する者(◆1)	本大学院の「社会人入学選考」により合格した在学生で、特に経済的理由のため就学が困難と認められる者
採用定員	採用資格を有する者	採用資格を有する者	原則、各学科1人	5人(最大)
給付期間	2年間(継続審査無し)	1年間(在学中1回限り)	2年間(1年次末に継続審査あり)	1年間(再出願可)
選考方法	対象入試の成績および学部3年次までの学業成績を評価	上記採用資格について選考	上記採用資格について学科の推薦に基づき選考	学力・家計・人物・健康状況について総合的に判断
出願について	入試出願時に合わせて出願	4月に大学UNIPAにて案内	被推薦者は本学所定の入試を受験すること	4月に大学UNIPAにて案内

※2026年度時点
 ※奨学金制度や金額は変更になる場合があります。
 ◆1 スコアレポートを提出できる者(得点は変更される場合があります)。オンライン実施分は対象外。
 ◆2 スコア取得時期は、大阪工業大学、同大学院在学中の出願時までに限る。

■学外奨学金制度 日本学生支援機構奨学金(返還義務のある貸与制奨学金) ※外国人留学生は除く

貸与奨学金の種類	貸与金額
第一種奨学金(無利子)	月額5万・8万8千円から選択
後払い制度	授業料支援金(無利子) (1年間の額。この額を「支援対象授業料」といい、大学が金額を決定します。)に、保証料相当額を加えた額
	生活費奨学金(無利子)
第二種奨学金(有利子)	月額5・8・10・13・15万円から選択

※2026年度時点
 ※貸与期間は標準修業年限までとなります。
 ※第一種奨学金と後払い制度は、いずれか一方のみ申し込みことができ、併用することはできません。
 ※後払い制度は、「生活費奨学金」のみの申込みはできません。支援対象授業料の額は、大学が課している授業料の状況(納付済みの授業料や授業料減免等)によって変動することがあります。授業料減免等の対象となる奨学金(予定)は、「大学院特待奨学金」、「大学院入学前予約採用型給付奨学金」、「大学院社会人学生給付奨学金」、「大学院グローバル人材奨励給付奨学金」、「テラスキ奨学金」です。支援対象授業料は申込者へ振込予定で、採用決定者への初回振込日は大学院への進学後となります。大学所定の授業料は期日までに大学に納付ください。
 ※申込資格、条件等があります。詳細についてはロボティクス&デザイン工学部事務室までお問い合わせ下さい。

イノベーションデザイン教育研究センター(CIDRe)

ビジネス創出+イノベーション人材育成の取り組み

大阪工業大学梅田キャンパスは、毎日約240万人が行き交う西日本最大の繁華街梅田にあり、その立地を生かして、以下2つの取り組みを展開しています。

イノベーションデザイン教育研究センター「CIDRe(シードル)」

産学官連携、グローバル連携、地域連携でイノベーション人材育成と新規事業創出のためのさまざまなプロジェクトを運営しています。顧客・技術・ビジネスの視点からデザイン思考をベースにしたイノベーション教育と迅速なプロトタイピングのための工房を充実させ、全学の学生を対象とした起業家マインドの育成を行います。

オープンイノベーション拠点「Xport(クロスポート)」

大阪工業大学と大阪商工会議所が運営する拠点でCIDRe内に設置し、企業の課題解決、新規事業創出を支援します。



▲ビジネスモデル基礎講座にてグループワークをしている様子

▼学内事業アイデアコンテスト「OIT Pitch」の実施



主たる活動内容、事例紹介

イノベーション教育教材の提供

社会に新たな価値を生み出すイノベーターとしてのマインド醸成を目的とした「起業家による講演会」、イノベーションを生み出すためのスキルや知識を身に付けることを目的とした「動画教材・ワークショップ」、実社会の課題をテーマにデザイン思考に基づいて解決策を考える実践型のPBLプログラムなど多様な教育プログラムを提供しています。

RDクラブ

デザイン系やIT系など多様な特性を持つ学生チーム(学部生)が企業と協力して実社会課題に取り組み、課題解決をプロトタイプにより評価し提案するものです。

アイデアの事業化支援

自身のアイデアを実現したい学生のアイデアブラッシュアップの機会として、産業界の専門家による個別メンタリング機会を提供しています。興味のある方は是非お問い合わせください。